

国立国語研究所学術情報リポジトリ

Editor's Note

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://repository.ninjal.ac.jp/records/1550 |

編集後記

今回のワークショップでは、2件の招待講演と35件の一般発表がありました。招待講演をご快諾くださりました東京大学の美馬秀樹先生・東北大学の折田奈甫先生、一般発表に申込をしてくださった方々に感謝いたします。ワークショップ・シンポジウム期間中、朝倉書店・ひつじ書房・勉誠出版に会場にて出店をお願いしましたところご快諾くださりました。どうもありがとうございました。

前回の言語資源活用ワークショップ2016（2017年3月）開催直後より、今回の言語資源活用ワークショップ2017の準備をはじめました。前回のワークショップのあと、様々なご意見をいただきました。特に学生さんの発表を増やす施策をいくつかご提案いただきました。その中で「優秀発表賞」の設置につきまして、今回導入いたしました。

優秀発表賞は、全著者が学生である・ワークショップ1日目に発表可能である・ワークショップ2日目のクロージングに参加可能である発表を対象に、参加者の投票に基づき選考するものです。受賞者には、賞状とトロフィー（下図）を進呈いたします。

今回のワークショップでは、優秀発表賞の対象となる発表が9件ありました。その中で、明治大学の間淵洋子のご発表「近代漢語の品詞性に見る多様性の画一化 ―形容詞用法を中心に―」が受賞しました。発表論文は14ページにわたってコーパスの整形方法および分析方法を記述したうえで、そこから得られた知見を用例をまじえて論述しています。受賞後もリポジトリ登録版の最終締切まで推敲を行う姿をみて、頭が下がる思いです。

また「音声資源活用シンポジウム」をワークショップを国立国語研究所コーパス開発センターと国立情報学研究所データセット共同利用研究開発センターとの共催で本ワークショップに併設して開催いたしました。本企画は石本祐一さんと大須賀智子さんが中心となり進めていただきました。実世界における生の音声を集積・分析されている方々による6件のご発表があり、大変盛況でした。

次回は 2018年9月に開催予定です。

国立国語研究所
コーパス開発センター
浅原 正幸

